

N 中央労福協ニュース NEWS LETTER

労働者福祉中央協議会（中央労福協）

発行人 南部 美智代

No. 188

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町 3-8 中北ビル 5F

Tel 03-3259-1287 URL <https://www.rofuku.net>

予 告

2022 全国研究集会 in 静岡 Hybrid 開催

6月2日 14:00 ~ YouTubeLive で生放送！

静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ 中ホール・大地

中央労福協は 2022 年 6 月 2 日（木）14:00 ~ 16:30、「2022 年度 全国研究集会 in 静岡」を Hybrid 開催する。

今年は静岡県静岡市にある大型劇場「静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ」の中ホール・大地から、YouTubeLive で生配信する予定。一般にも公開するため、加盟団体関係者のみならず、広く役職員・組合員、友人・知人、ご家族など、視聴の呼びかけをお願いしたい。当日は全国どこからでも、どなたでも、PC やスマートフォンからアクセスし、参加することができる。

2020 年の全国研究集会 in 京都では、「新しいつながりのカタチ」として、旧態依然とした形（組織・体制、上下関係、管理・階層型）から新しいカタチ（水平、ネットワーク、対等、軽やか、cool）へと社会が変化していることを学んだ。こうした社会や時代の変化の上で、私たちはよりよい未来の創造に向け、「世代を超えて」取り組みを広げていく必要がある。

今年は「TSUNAGARI」- 世代を超えて。をテーマに、2030 年の国連・持続可能な開発目標（SDGs）の達成や「労福協の 2030 年ビジョン」がめざす社会の実現に向けて、新しいつながりへアプローチする第一歩として「若者」をキーワードに現代の若者たちの持つ感性、価値観、考え方や生き方などにふれ、「同じ社会の担い手として一緒にできることはないか」を模索する。

ゲストには、普段から学生たちと接点を持つ国立大学

法人静岡大学の日詰一幸学長をはじめ、若手の実践者、学生をお招きする。トークセッションでは、若者たちを知り、若者たちとつながり、社会的課題の解決や地域おこしへのヒントを考察する。

●一般の方へ参加方法のご案内

本研究集会は「YouTubeLive 生配信」と「会場での参加」の Hybrid 開催です。

①「YouTubeLive 生配信」を視聴する

当日、時間になりましたら特設サイトから生放送をご視聴頂けます。

② 現地の会場に行って参加する

一般のお客様は特設サイトから詳細情報をご確認の上、「会場参加申し込み」を行ってください。

特設サイトはこちらから！▶

※現在、仮サイトを表示しています。
本公開は 5 月中下旬を予定しております。
QR コードは変わりません。
公開まで今しばらくお待ちください。



【！】これは「一般の方向け」のご案内です。

中央労福協加盟団体関係者の皆さまは、すでにお送りしている「開催案内」に従ってお申込み下さい。

No.188 Topics

2 面 第 19 回 Web 学習会：多文化共生のまちづくり
新任職員挨拶

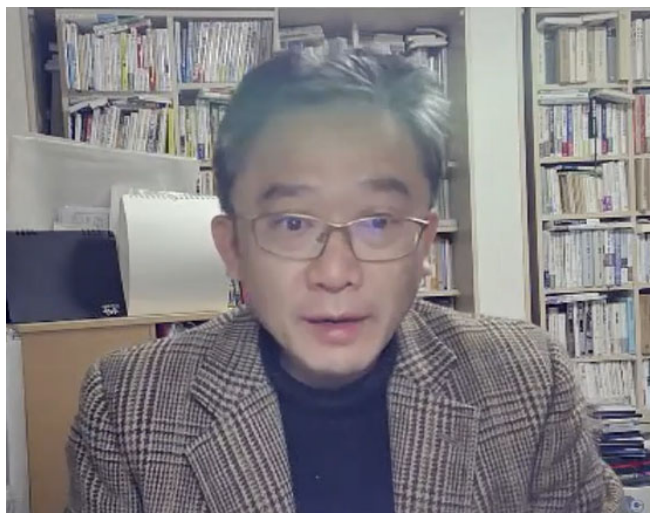
3 面 連載「助け合い・支え合いの現場から」第 5 弾第 3 回

第 19 回 Web 学習会 多文化共生のまちづくり

中央労福協は 3 月 22 日、一般社団法人茨城 NPO センター・コモンズ代表理事の横田能洋氏を講師に迎え、日本で暮らし働く外国にルーツをもつ方々の現状と課題に関する Web 学習会を開催、88 名が参加した。

茨城県西地域に位置する常総市では人口の約 9% が外国人が占める。コモンズは NPO 中間支援組織として活動するかたわら、空き家を活用した保育園や交流の場の運営、子どもの教育・キャリア支援、シェアハウスの提供、2015 年の鬼怒川大水害からの復興などを通じて、多文化共生をコンセプトとしたまちづくりを行っている。在留資格を失うのが嫌で日本人配偶者の DV から逃げられない、在留資格のない難民申請中の方は住民登録も健康保険加入も就労もできない等々、外国人の方は様々な問題を抱えており、地域ごとに対応が求められる課題も異なる。

横田氏は「外国人の相談は外国人を専門に対応している団体につなげばよいと思われるがちだが、本来であれば福祉の専門機関で対応すべき。言葉の壁や国の事情などに配慮しつつ日本の福祉サービスを提供できるようにする“多文化ソーシャルワーク”を普



及させたい。福祉に携わる多くの皆さんにぜひ取り組んでいただきたい」と熱を込めて語る。

また、給与明細の見方からローンや保険の仕組みなどの金融教育、地域や学校にいる外国ルーツの方々への声掛けなどの必要性についても言及いただいた。労働者自主福祉運動として、また一生活者として実践できる外国人への対応・接し方について多くの気づきを得る機会となった。

新任職員挨拶 池田圭佑 部長

みなさま、はじめまして。労金協会から出向してまいりました、池田圭佑と申します。佐賀県出身の社会人 15 年目となる 37 歳です。労金では、2007 年に九州労金に入庫し長崎支店に勤務、その後、労金協会、労金連合会を経て今に至ります。趣味は、最近船釣りにハマっており、アジやタチウオを狙って週末は東京湾に繰り出しております。釣りに行くたびに増えていく船代と釣具に財布と部屋が悲鳴を上げている状況です。

この度、労福協の活動をみなさまと一緒にできること、とても楽しみにしております。労福協については、全国の労福協の活動によって多重債務問題や奨学金問題などの社会問題が改善されてきたことを先輩方から話を聞いておりました。

これから中央労福協の事務局として、金融面だけでなく、勤労者の生活全般にかかる問題解決に取り



組んでいくことに力不足を感じるばかりではありますが、少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

連載

助け合い・支え合いの現場から 第5弾

一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会
前専務理事

永田 信雄 さん

第3回

東日本大震災と埼玉労福協と私



埼玉労福協三役と双葉町との話し合いの様子（2011 年 4 月 2 日）

2011 年 3 月 11 日、中央労福協の会議が終わり、浦和の事務所に戻る途中、南浦和駅に停車したときに激しい揺れが私たちを襲いました。車内では悲鳴が上がり、ホームにいる人は座り込んでいました。私は急いで電車をおりタクシーで事務所に向かい、大津波が東北沿岸を襲う映像を観ることになります。その時はそれが原発事故につながり埼玉県に数千人が避難し、令和 4 年の今でも 3000 人を超える福島県民が埼玉県内で生活することになるとは予想できませんでした。

● 埼玉労福協は「東北地方太平洋地震救援対策会議」を開催、組織的支援を確認

3 月 25 日は 2011 年度の事業計画を決定する社員総会の日でしたが、総会終了後に「地震救援対策会議」を開催し、中央労働金庫埼玉県本部、全労済埼玉県本部、連合埼玉が連携して取り組むことを確認しました。そして 4 月 2 日に加須市に避難した双葉町を訪れ支援を申し出ました。

中央労働金庫埼玉県本部は、早速職員に呼びかけて BOX ティッシュ 192 個、カップ麺 450 食を集めて双葉町に寄付しました。

● さいたまスーパーアリーナは「被災地」

福島県双葉町の 2000 人を含む 3000 人が避難したさいたまスーパーアリーナはまるで「被災地」でした。全国から医師や看護師、医療関係者が駆け付け、様々な支援を行う人々でごった返し、連日数百人のボランティア希望者には「ボランティアの受付は終了しました」との告知も必要となりました。

支援活動の中で目立ったのは JA 埼玉青年部、生協などによるみそ汁の炊き出しでした。避難者の多くは生活道具どころか着替え、キャッシュカードすら持って来ていませんでした。そのような中での温かいみそ汁は避難者を勇気づけたと思います。

3 月 31 日、さいたまスーパーアリーナ相談コーナーに「労金住宅ローンの返済猶予」の相談がありました。東北労金福島県本部と連絡をとり繋げたのは労働金庫が全国連携の金融機関だったからでしたが、全国規模の「日本労働金庫」であればもっとスムーズに対応できたのではと感じた場面でした。

● 4 月 1 日、双葉町民と役場機能は加須市に移る。

旧騎西高校は 1700 人の町民が教室でくらす避難所となり、労福協の支援の場も加須市に移りました。

予告 第20回 Web 学習会 5月10日開催予定！

今回は「フリーランス」という働き方にスポットを当て、フリーランスとして働く皆さんが抱える労働上の課題、社会保障上の課題などについて学び、こうした問題について取り組む非営利組織で活躍される方をゲストにお招きします。ぜひご参加下さい。

テーマ (仮題) フリーランスの方が置かれている課題と解決の方向性

日時 5月10日(火) 14:00～15:30

ゲスト 一般社団法人プロフェッショナル＆パラレルキャリア・フリーランス協会
代表理事 平田 麻莉 氏

※ 本 Web 学習会は中央労福協加盟団体関係者限定です。一般の方はご参加頂けませんので予めご了承ください。

開催のご案内を4月下旬に加盟団体宛てにお送り致します。ご案内に記載の参加登録フォームから、ご参加下さい。

2022年4月から、18歳は大人！ マネートラブルに気を付けよう。



知って
防ごう

あなたの身近に潜む

解決
しよう

マネートラブル



特設サイトで動画をチェック！
https://all.rokin.or.jp/money_literacy/



#教育費や奨学金返済の負担を 軽減する税制支援を

オンライン
署名で

奨学金返済者や保護者の教育費の負担を軽減する税制支援(減税)の実現をめざし、オンライン署名を呼びかけています。ぜひ、ご賛同ください。

教育費の
負担を軽く
未来を明るく

署名の宛先

内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣

「奨学金返済と教育費の
負担軽減を求めるプロジェクト」

呼びかけ人(順不同・敬称略)

大内 裕和(奨学金問題対策全国会議共同代表、武蔵大学教授)

岩重 佳治(奨学金問題対策全国会議事務局長、弁護士)

芳野 友子(労働者福祉中央協議会会長、日本労働組合総連合会会長)

要請内容

① 奨学金返済負担軽減のための税制支援の実現を！

大学等修学支援法(2019年成立)に対する国会の附帯決議では、貸与型奨学金について「返還負担軽減のための税制など返還困難者の救済制度の在り方の検討に努めること」が全会一致で決議されました。国会の意思でもあることから、その速やかな実現を求めます。

② 保護者の教育費負担軽減のための減税を！

コロナ禍の長期化により、教育費負担の増大が予想され、教育費負担軽減のための政策減税は経済回復策として政策効果が高いと考えます。大学などに通う扶養者がいる場合、所得や年齢に制限を設けずに適用することを求めます。

3ステップで署名

STEP 1

今すぐ賛同

サイトにアクセスして
「今すぐ賛同」
ボタンをクリック！

STEP 2

名字
名前
Eメールアドレス

名前とメールアドレスを入力し、
もう一度「今すぐ賛同」
ボタンをクリック！

STEP 3

あなたの賛同を
正式にカウントさせる

届いたメールから
「メールアドレスを認証」

オンライン署名は
こちらから



※賛同の際には利用規約などを
合わせてご確認ください